



# にじいろだより

2021年1月4日発行  
香川県指定  
子ども発達支援センターこがく

あけましておめでとうございます。2021年が皆様にとって、かけがえのない素敵な時間になりますことを祈念しております。

今年も子どもたちをしっかり見つめ、保護者の皆さまと一緒に考えていく場を大切にしていきたいと思いますので、職員一同、どうぞよろしくお願いいたします。



療育テーマ

## ～知能・発達検査について～

「知能(発達)検査の数値が低いのですが、うちの子は障害があるということですか？」

「知能(発達)検査の数値は高いので、うちの子どもは心配ないですよね？」・・・

という、保護者からの質問を受けることが多くなりました。

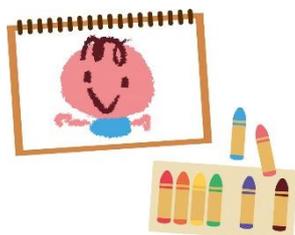
昨今、お子様の育ちや発達への関心が高まり、知能(発達)検査が身近なものになってきたからかもしれません。



保護者の方がよく耳にされる検査には、ビネーV、WISC(ウイスク)、新版K式があります。しかし、これらはお子様の認知(理解・判断・論理など)や全体的な発達状況を測定するための検査であり、多動や衝動性、対人関係、子どもの心理を見るための検査ではありません。

もちろん、それらの検査結果で不正解(苦手?)の項目をたどっていくと、お子様の傾向について、仮説を立てられる場合がありますが、行動や対人関係などの特性を把握したい場合、知能(発達)検査以外にも、いくつかの検査を組み合わせる方が有効なときもあります。

最近、インターネットを通じていろいろな情報を得ることができるようになりました。しかし、子どもの発達はさまざまで、大勢の人に向けて発信された情報が当てはまるとは限りません。知能(発達)検査について不安なこと、疑問に思われることがあるときは、検査を受けた機関に相談されることをお勧めします。



### 1月の行事予定

1月4日(月) 休所日



今年は・・・

「守」

体調管理で身を「守」り、  
子どもたちの成長を  
見「守」ります。

主任保育士 後藤祐美



「笑」

マスクをしても、笑顔を  
忘れず、元気で楽しい1年に  
したいです。

保育士 岩倉 奈津子

「明」

いろいろ大変な世の中ですが、  
明るくがんばりたいです。

児童発達支援管理責任者

村井 美恵



### 編集後記

昨年は未曾有の事態で、いろいろな制約が多い年でした。今年もまだ、同じような状況が続くかと思われませんが、「当たり前」をどのようにとらえていくのかを考えるきっかけになればいいなあと思います。

今までは、自由に日本中を行き来できた、昨年は〇〇だったと不平をもらすだけでなく、与えられた条件の中で生活していく知恵を大切にしていきたいです。

ちなみに今年、私が目標にしたい漢字は「受」。ありがたいものもそうでないものも受け止められる、しなやかな1年になりますように。

所長 岡本 静

